

## 2019年度 災害委員会 活動報告(4月～8月)

### 1. 2019年(4月～8月)の主な活動内容

活動日	参加人数	主な活動内容
2019年 5月18日 (第21回)	10名	・「2019年度版 災害時対応連絡網」の使用方法及び啓蒙活動について ・「改訂版 災害対策」の本の読み合わせ及び活用方法について ・熊本県下標準の冊子作成について
2019年 6月29日 (第22回)	8名	・災害マニュアル冊子について ・マニュアルの中身検討 ・災害シミュレーションについて
2019年 7月20日 (第23回)	10名	・災害マニュアル冊子の見本作成 ・災害シミュレーションに内容検討 ・従事者研修について (10/12. HUG)

\*「2017年度版 災害時対応連絡網」を見直し検討して、「2019年度版 災害時対応連絡網」を作成。

\*「改訂版 災害対策」の本を読み合わせ、今後の災害マニュアルの活用について内容等の検討をし、熊本県下のステーションに統一した災害マニュアルの冊子を作成。(赤いファイルの冊子)

\*各ブロック毎に啓蒙活動を実践。

\*9月18日(水) 3回目の災害シミュレーション実施予定。

\*10月12日(土) 従事者研修にて「避難所(H) 運営(U) ゲーム(G)」を予定。

## 災害委員会

災害委員会では、今迄に2回の災害シミュレーションを実践しての気づきやアンケート結果を元に「2017年度版 災害時対応連絡網」の見直し検討を行ない、「2019年度版 災害時対応連絡網」を作成しました。

今回、改定した災害時対応連絡網が熊本県下のステーションの皆様に使用方法など、再度周知して頂ける様に各ブロック会議の時に啓蒙活動を行なっていました。その時、熊本県下のステーションに統一した災害マニュアルの冊子の必要性と、今回「改訂版災害対策」の本に木村代表が編集に直接かかわられ、寄稿され連絡網フローチャート等も記載され、今迄以上に啓蒙への想いも高まり、熊本県下統一のマニュアルの冊子が持てる様に、理事会へ提案し今回心よく承認して頂き赤いファイルの冊子ができ、この冊子で各事業所のスタッフの皆さんにも内容を理解して頂き、いつでもどんな時でも誰でもが、災害時に対応できる様に又、地域貢献が出来る事を願って活動しています。